

2015年10月8日  
イオン株式会社  
AEON(Thailand)CO.,LTD.

## タイ・シラチャ郡にイオンが自社開発した初のコミュニティモールが誕生！ 10月21日(水)「イオンシラチャ ショッピングセンター」オープン

Aeon (Thailand) Co.,Ltd. (イオンタイランド以下、当社)は10月21日(水)、タイ王国チョンブリ県シラチャ郡シラチャ市に独自開発した「イオンシラチャ ショッピングセンター (AEON SRIRACHA SHOPPING CENTER、以下、当SC)」をオープンします。

イオンはイオングループ中期経営計画(2014~2016年度)において、グループ共通戦略のひとつに「アジアシフト」を掲げ、ASEAN諸国、中国においてグループ一体となった成長戦略を推進しています。タイにおいては、1984年のサイアムジャスコ(現イオンタイランド)を設立以来、スーパーマーケット(SM)、金融事業のイオンタナシンサップに加え、アミューズメントパークを運営する(株)イオンファンタジーが事業を展開しています。また、友好企業である(株)ツルハは、当社が運営する2か所のSC(当SCを含む)にテナント出店しています。今後もタイのお客さまの多様なニーズにお応えすべく、グループ一体となって事業展開を一層加速してまいります。

### 【「イオンシラチャ ショッピングセンター」の立地・商圈】

「イオンシラチャ ショッピングセンター」はバンコク中心部から東に約100kmのチョンブリ県シラチャ郡シラチャ市に立地。中心部より高速バスで約2時間、スワンナプーム国際空港からは車で約1時間30分のところに位置し、さらに車で30分圏内には、世界的に有名なリゾート地であるパタヤがあります。元々は漁業の街として栄え、近年では周辺地区の工業団地に日本企業をはじめとする外資企業の進出が多く見られる国内有数の工業都市となりました。チョンブリ県全体の人口は約130万人で、そのうち約27万人がシラチャ郡に居住、日本人居住者も国内ではバンコク市に次ぐ約1万人となっています。2009年に同国2校目となる日本人学校の設立により、家族での居住者が急増、世界有数の日本人街を形成しています。

当SCは、こうした日本人に加えタイ富裕層の居住エリアから徒歩圏に立地。周辺では約1,300世帯のコンドミニアム・サービスアパートメントの開発も進み、ますます発展が期待されるエリアとなっています。

### 「イオンシラチャ ショッピングセンター」外観図



### 【「イオンシラチャ ショッピングセンター」の主な特徴】

当SCは、地上3階建て、商業施設面積約7,000㎡で駐車場台数220台を有するコミュニティモールです。SMの「マックスバリュ」を核店舗に、3フロアに日本企業テナント21店舗、タイ企業テナント19店舗の40の専門店を配置しています。

“JAPAN”をコンセプトに、店舗デザイン、テナント構成、SMの「マックスバリュ」における品揃えにいたるまで、徹底的に“JAPAN”にこだわっています。飲食店は19店舗のうち日系企業が10店舗を占め、子ども向けの室内遊園地といったアミューズメント施設、学習塾等の教育施設、マッサージ、銀行、クレジットカードなどの金融などのサービス施設においても日系企業を集積しました。日本人のお客さまはもとよりタイのお客さまにも、日々のくらしのなかで“JAPAN”を体感いただけるような時間と空間をご提案します。

### 【ショッピングセンターの概要】

SC名称： AEON SRIRACHA SHOPPING CENTER (イオンシラチャ ショッピングセンター)

核店舗： MAXVALU AEON SRIRACHA SHOPPING CENTER STORE

所在地： 165/133 MOO 10 SURASAK, SRI RACHA DISTRICT, CHONBURI PROVINCE

建物構造： 地上3階

開店日： 2015年10月21日(水) 《ソフトオープン 10月14日(水)》

営業時間： 物販・サービス：10:00~20:00

飲食：11:00~22:00

\*一部テナントの営業時間が異なります。

\*核テナントのマックスバリュは24時間営業です。

休日： 年中無休

敷地面積： 約11,000㎡

商業施設面積： 約7,000㎡

(うち直営) 売場面積 約1,927㎡

後方面積 約482㎡

合計 約2,409㎡

駐車場： 220台(平面駐車場)

SC Mgr： 安川 優(やすかわ ゆう)

マックスバリュ店長： NIRAMON SIRIVUT (ニラモン シリユット)

従業員数： 約100名

SC商圏： 約78,000人(車15分圏内/半径3km)

### 【「マックスバリュ イオンシラチャSC店」の特徴】

「マックスバリュ イオンシラチャSC店」のオープンにより、イオンのタイにおける食品SM及び小型食品SMは合計78店舗となります。当店は、タイ東部における日本スタイルの地域一番店として、地域の日本人のお客さまと日本に関心をお持ちのタイのお客さまに、“JAPAN”を感じていただける快適な店舗を目指します。またサービスにおいても地域一番店を目指し、お客さまの売場でのご質問やご要望に迅速に対応すべくお客さま案内係を配置します。

また売場は、イートイン、カフェ&ベーカリーコーナーを含むフードゾーンと、薬局・書籍も取り扱うノンフードゾーンの2ゾーンで構成されています。“JAPAN”をコンセプトに、コーナーの随所に日本の商品、日本式の販売方法を取り入れ、日本人のお客さまはもとより、日本に関心のあるタイのお客さまにもご満足いただける売場を実現しました。

### ◆<フードゾーンの特徴>

デリカコーナーにおいては、お持ち帰りやイートインなどお客さまの用途に応じてご利用いただけるよう、デリカ対面アイランド、カフェ&ベーカリー、イートインコーナーを店内入口すぐのところに集合展開します。デリカ対面アイランドでは、寿司、お刺身、天ぷら、焼きとり、お好み焼き、たこ焼き、たい焼きといった日本食を、つくりたての状態でご提供します。また、サンドイッチ、サラダといった冷惣菜や飲茶などの軽食や、北海道の原料を使った大福などの和菓子もバラエティ豊かに取り揃えます。カフェ&ベーカリーコーナーでは、焼きたてのデニッシュと淹れたてのオーガニックコーヒーをお楽しみいただけます。イートインコーナーとして80席を設け、お買上いただいた商品をお召し上がりながら、ゆったりとくつろげるスペースを配置しました。

生鮮コーナーでは、“JAPAN”をコンセプトに、豊富な品揃えを実現。野菜・果物売場では、日本のイオンと同様に厳選・管理された「安全・安心」な野菜・果物を航空便・船便で定期的に輸入販売します。サラダバーでは、約30種類のなかからお客さまオリジナルのサラダをお楽しみいただけます。精肉売場は、「トップバリュ グリーンアイ」のタスマニアビーフや北海道牛をご提供するとともに、タイでオーガニック認証を受けている豚肉「Green Pork」を展開します。鮮魚売場では、地元シラチャ港で水揚げされた鮮度抜群の海老・カニなどを品揃えます。また、日本の朝食に欠かせない塩鮭をお値打ち価格でご提供します。

加工食品コーナーにおいては、日本から輸入する「トップバリュ」は、もちろんのこと、日本メーカーの商品もバラエティ豊かに展開します。リカー売場では、日本より輸入した「トップバリュチューハイ、ハイボール」に加え、日本酒、焼酎、ワインを豊富に取り揃えます。特に、タイのお客さまに人気の梅酒においては、通常の約3倍と品揃えを強化します。

サービスカウンター横のコーナーでは、タイ政府が推進しているOTOP (One Tamboon One Product / 一村一品運動) の商品を地元チョンブリ県の商品を中心に取り揃え、ギフトとしてもご利用いただけるようご提案します。

### ◆<ノンフードゾーンの特徴>

ノンフードゾーンには、書籍コーナーを約70㎡広さで設けました。(株)紀ノ國屋にご協力いただき、日本から週2、3回の配送を実現。日本の雑誌や新刊をいち早くお届けします。また「トップバリュ」の学童文具も、日本から輸入して販売します。

さらに、住友化学(株)の技術協力のもと開発した、蚊の殺虫成分をネットに練り込んだ蚊帳、「トップバリュオリセット®ネット」を販売します。

### ◆<「トップバリュ」の展開>

タイにおいては、イオントップバリュタイランドが現地のお客さまのニーズに合わせた商品開発を進めてきました。2013年9月に「トップバリュ」ドリングウォーターを発売以降、水、缶詰、調味料、冷凍食品、菓子、トイレットペーパーなど日用必需品を中心に、商品ラインナップを拡充。こうしたタイのお客さま向けに独自に開発した商品に加え、ペットフードなどタイ国内で日本向けに輸出している商品、さらにはふりかけ、カップ麺、乾麺、お菓子、文房具、調理用品など日本で生産されているアイテムの直輸入商品と3つの調達ソースで、合計約700アイテムまで拡大展開します。

今後もナチュラルミネラルウォーター、ナンプラーなどの現地開発商品、キャリーケース、スキンケア商品、ベビー用品など日本からの輸入商品合わせて、1,000アイテムまで商品ラインナップの拡充を図ります。

### 【「モーリーファンタジー イオンシラチャSC店」の特徴】

ファミリー向けアミューズメント施設とインドアプレイグラウンドを運営する㈱イオンファンタジーが、当SC2階に「モーリーファンタジー」を約380㎡の広さで展開。

お子さま向けの乗り物（キッズライド）をはじめ、エアホッケーや太鼓のゲーム等、親子で一緒にお楽しみいただけるゲームを豊富に取り揃えました。またプレイグラウンド施設では、色々なカラダの動きを体現できる「ボールプール」や「スライダー」、 “ごっこ遊び” の「なりきりタウン」などを設置。オリジナルキャラクターのララちゃんと一緒にご参加いただけるイベントも定期的を実施します。



### 【環境保全・社会貢献活動の取り組み】

当SCは、地域社会の一員として環境保全・社会貢献活動に積極的に取り組みます。「マックスバリュ」、SC内共有部及び外構照明、外部サインにいたるまでLEDを採用しています。またEMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入しSC内で使用されるエネルギーを監視、見える化することで、消費電力の削減、CO<sub>2</sub>排出抑制に努めています。加えて、施設から出る生ごみ、廃油、ペットボトル等の廃棄物を可能な限りリサイクル、リユースすることで環境負荷低減に努めます。

また当SCでは、地域の皆さまとともに、SC周辺（シラチャ地区）でのクリーン&グリーン活動を実施していきます。「マックスバリュ」では、黄色いレシートキャンペーンによる地域のボランティア団体へ支援活動や、買物袋持参運動の推進「マイバッグ運動」を実施します。

### 【安全・安心、防災・防犯への取り組み】

お客さまに安心してお買物いただくために、駐車場、SC館内の随所に防犯カメラを設置のうえ、セキュリティによる巡回と機械警備システムによる監視を行うことで、防犯・盗難防止を強化しています。万一火災などの発生時においても、お客さまを安全に避難誘導、救出救護、初期防火を行うことを目的に、「自衛消防組織」を全従業員で構成し、安全性の確保に努めています。

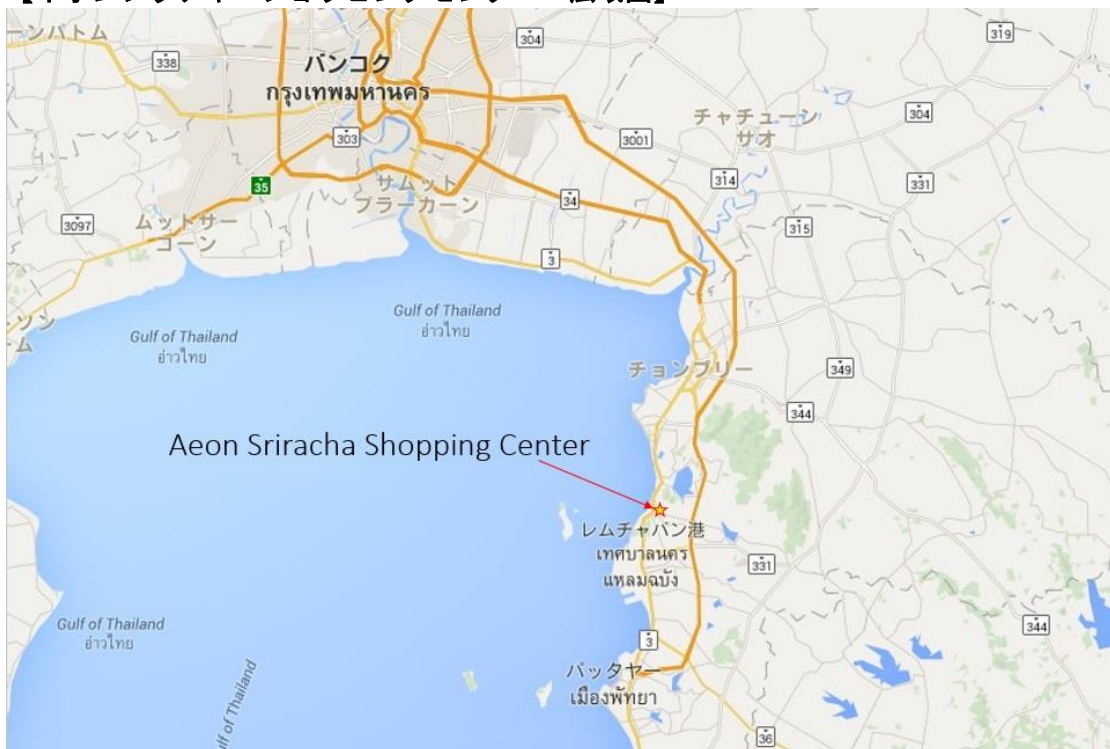
「マックスバリュ」においては、万一、停電や災害が発生した場合には、非常用発電機により、使用する電力をバックアップします。停電時の店舗の事業継続はもちろん、お客さまの安全確保、さらには地域への貢献に努めてまいります。



【イオンシラチャ ショッピングセンター 周辺図】



【イオンシラチャ ショッピングセンター 広域図】



出典：Google Map

【テナント各店一覧】(\*印の付いた店舗はグループ子会社、および友好企業が運営)

1階			
店名(英語)	業種	国/地域	シラチャ初
Maxvalu	スーパーマーケット	日本	
Balcony Lounge	コンドミニウムラウンジ	タイ	
Mirai Drug	ドラッグストア	日本	○
KT Optic	メガネ	タイ	
Tackle Berry	釣り具	日本	○
* AEON Thana Sinsap	クレジットサービス	日本	
ClubThailand	会員サービス	タイ	○
Krungrsri	銀行	タイ	
SATO	日本料理	日本	
GUTE	ベーカリーカフェ	タイ	○
Bangkok Bank	A T M	タイ	
Kasikorn Bank	A T M	タイ	
SCB Bank	A T M	タイ	
Kikuya	クリーニングサービス	日本	○
Kafea nomsod	ドリンク	タイ	
Kunken toys	子ども用玩具	タイ	
Yuufuku Yakiimo	焼き芋	タイ	
Sumheng Kanon	お菓子	タイ	
Rodcha	紅茶・コーヒー	タイ	
TooHongkong Waffle	ワッフル	タイ	
Wanaka Takoyaki	たこやき	タイ	
OMG burger	ハンバーガー	タイ	
Ochaya	ドリンク	タイ	

2階			
店名	業種	国/地域	シラチャ初
Daiso	生活雑貨	日本	
* Molly Fantasy	室内アミューズメント	日本	
* Tsuruha	ドラッグストア	日本	
Asia Harb	マッサージサービス	日本	○
Korakuen	ラーメン	日本	
Srirachaya	日本料理	日本	
Sukiya	牛丼	日本	○
Ringer Hut	長崎ちゃんぽん	日本	○
Botejyu	お好み焼き	日本	○
Zeniba	焼肉	日本	○
Soft Coner	ソフトクリーム	日本	
Shakariki432	居酒屋	日本	○

3階			
店名	業種	国/地域	シラチャ初
Ikuta Dental Office	歯医者	日本	○
Herlem Shake	ダンススクール	タイ	○
Power 7	アパレル	タイ	○
Aplate	ヘアサロン	日本	○
Peppina	イタリア料理	日本	○

**【イオンタイランドの概要】**

名 称： AEON (Thailand) CO., LTD. (イオンタイランド株式会社)  
 設 立： 1984年12月18日 (※社名変更：2007年8月1日)  
 所 在 地： 78 Chaengwattana Road, (チェーンワタナ通り)  
 Kwaeng Anusawaree (アヌサワリー地区) Khet Bangkhean (バンケーン区)  
 Bangkok 10220, Thailand  
 資 本 金： 5億5820万バーツ 約19億54百万円 (※1バーツ=3.5円換算)  
 代 表 者： 代表取締役社長 生田 政光 (いくた まさみつ)  
 事 業 内 容： スーパーマーケット、および近郊型ショッピングセンターの運営

**【イオンのアセアンにおけるSC、GMS、SM、HP事業展開店舗数】**

(2015年10月21日現在)

法人名	合計	GMS	SM	HP※	モール型 SC
イオンマレーシア	34	30	4	—	18
イオンビッグマレーシア	27	—	3	24	
イオンタイランド	78	—	78	—	
イオンベトナム	2	2			2
イオンカンボジア	1	1			1
イオンインドネシア	1	1			1
Aeon Citimart	30		30		
Aeon Fivimart	22		22		
<b>アセアン事業計</b>	<b>195</b>	<b>34</b>	<b>137</b>	<b>24</b>	<b>22</b>

※ HP：ハイパーマーケット